

中野ブロードウェイ再整備に おける仮移転先を検討せよ



自由民主党議員団 市川 したろう

中野ブロードウェイの再整備を将来的に検討する際、営業継続ができる仮移転先の確保が重要な課題である。中野サンプラザエリアを仮移転先として活用する可能性も含め、中野区全体の長期的な都市戦略の中で検討してはどうか。

中野ブロードウェイの 防災上の課題を問う

中野ブロードウェイは建設から約60年が経過し、老朽化が著実に進んでいる。また、

河川氾濫危険地域に特化した 水害対策を進めよ



公明党議員団 木村 広一

①サイレン吹鳴後は、防災情報を速やかに発信できるよう、事前に統一文を準備し、河川別・地域別配信の実現も検証しながら、公式LINE等で発信しては。②登校日当日、午前6時時点の判断後、特定河川の危険度が高まる場合に備え、事前周知から登校判断、保護者連絡、児童・生徒の所在確認までを時系列で整理した、共通水害対応タイムラインの作成や最低限の共通行動基準を定めるべきでは。③活用も含め、河川別・地域別配信を検証する。④必要があると認識している。

南部の交通不便地域の 解消をせよ

①南部地域は急坂が多い。令和9年度に実施予定の区民移動実態に関するアンケート調査で、坂道による移動負担も把握しては。②計画の見直し時は、GISを活用し、実質的な交通不便地域を可視化しては。③調査等で移動上の課題が確認された地域には、町会等に調査結果等を情報提供しては。④町会等から相談があった場合は、区が制度説明、検討の進め方に関する助言を行い、地域の主体的な取

子育て支援の充実を図れ

家庭の経済状況によって、子どもの体験機会に差が生じている。18歳以下の料金設定、利用者数、利用料収入を施設ごとに整理し、影響額を試算

首都直下地震の発生が懸念されるため、防災性能向上や避難経路確保等も重要な課題である。中野ブロードウェイの老朽化や防災上の課題をどう評価し、将来的な再整備の必要性をどう認識しているのか。

①区民の再生可能エネルギーへのエネルギーシフトを進めるため、周知・啓発に加え、行動変容につながる具体策を検討すべきではないか。②区民の身近な生活空間にみどりがあることの重要性について、認識はどうか。③「歩きたくなるまちづくり」における「質の高いみどりの創出」とはどのようなもので、その実現に向けた施策を伺う。

地域の声を生かした 鷺宮のまちづくりを

①旧鷺宮小学校校跡地活用を検討に当たり、素案作成前の段階から地域住民の意見を反映するために取り組むべきでは。②鷺宮西住宅の建替えに当たり、地域への影響を抑えた計画案の検討を求めるべきでは。③建替え後も従前居住者が入居しやすい家賃設定を求めるべきでは。④野方第1号踏切除却事業の今後の見通しと、複線シールド工法によ

り組みを支援すべきでは。①項目に反映していく。②課題解決につながる計画にする。③情報提供や案内を行う。④検討段階に応じた、きめ細やかに支援を行う。

区民のエネルギーシフトと 質の高いみどりの創出を問う



日本共産党議員団 羽鳥 だいすけ

①区民の再生可能エネルギーへのエネルギーシフトを進めるため、周知・啓発に加え、行動変容につながる具体策を検討すべきではないか。②区民の身近な生活空間にみどりがあることの重要性について、認識はどうか。③「歩きたくなるまちづくり」における「質の高いみどりの創出」とはどのようなもので、その実現に向けた施策を伺う。

地域の声を生かした 鷺宮のまちづくりを

①旧鷺宮小学校校跡地活用を検討に当たり、素案作成前の段階から地域住民の意見を反映するために取り組むべきでは。②鷺宮西住宅の建替えに当たり、地域への影響を抑えた計画案の検討を求めるべきでは。③建替え後も従前居住者が入居しやすい家賃設定を求めるべきでは。④野方第1号踏切除却事業の今後の見通しと、複線シールド工法によ

り組みを支援すべきでは。①項目に反映していく。②課題解決につながる計画にする。③情報提供や案内を行う。④検討段階に応じた、きめ細やかに支援を行う。

インクルーシブな まちづくりを推進せよ

都民ファーストの会中野区議員団 黒沢 ゆか



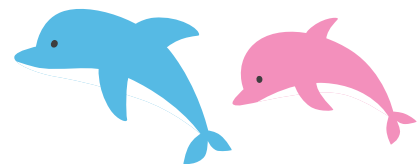
公共施設へのエレベーター設置や、トイレ内の介助用ベットの導入が重要ではないか。今後調査していく。

包括的性教育を推進せよ

未就学児向けの「心と体の安全教育」を広げてはどうか。①就学前教育プログラムに位置づけていく。

女性の健康推進を図れ

長期休業中の食品配付事業では、鉄分補給や栄養改善の直接的アプローチを行っては。①栄養バランス等も考慮し、食品を選定していく。



重層的支援体制の展開を問う

複数の課題を抱える家庭の孤立を防ぐ取り組みとしては。①伴走的支援を行うとともに、体制の強化を図る。

ご利用ください

●声の区議会だより

目の不自由な方のために、区議会だよりを朗読録音したCD・デジ版CD「声の区議会だより」を発行しています。郵送により無料で貸し出します。利用をご希望の方は、区議会事務局(電話03-3228-5585)まで。視覚障害者の方へお知らせください。

中野区の平和事業を問う



立憲・国民ネット・無所属議員団 ひやま 隆

間もなく、終戦の日である8月15日を迎える。先の戦争において尊い命を犠牲にされた全ての方々に、謹んで哀悼の誠を捧げる。①先の戦争に出征した祖父や祖父の戦友会の仲間から聞かされた戦場での生々しい話は、歳月を経た今もなお、鮮明に記憶に焼き付いている。戦争を直接知らない若い世代に対し、戦争体験者の生の声を聞く機会の拡充をこれまで繰り返し求めてきたが、その後の検討状況を伺う。②今日では、先の戦争に関する情報を、容易にインターネットを通じて入手できる時代となった。しかし、インターネット空間には事実とは乖離した言説が溢れているという実態がある。知覧特攻平和会館を視察した際、同会館の理念である「永久に・正

しく・ありのままに」そして「風化させない、美化しない」という姿勢に深い感銘を受けた。このような時代だからこそ、先の戦争の事実を、「永久に・正しく・ありのままに」語り継ぐという原点に立ち返ることが必要では。

①戦争体験者から直接話を聞く機会が少なくなっている。引き続き被爆者団体を通じた語り部の紹介等、可能な対応を図っていく。②区は平和資料展示室等におけるパネル展示や、平和のつどい等の取り組みを着実に進めてきた。戦争について知ることとは、区民が平和について考える契機となるものであり、若い世代を含めた多くの方が平和の尊さを共有し、次の世代へ確実に引き継いでいくための基礎であると考えている。

区議会だよりへのご意見、ご感想、ご要望などありましたら、今後の参考にさせていただきますので、郵送・電話・FAX・Eメールなどでお気軽に区議会事務局までご連絡ください。



〒164-8501 中野区中野4-11-19
電話 03-3228-5585
FAX 03-3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp